

豊田市公共交通会議

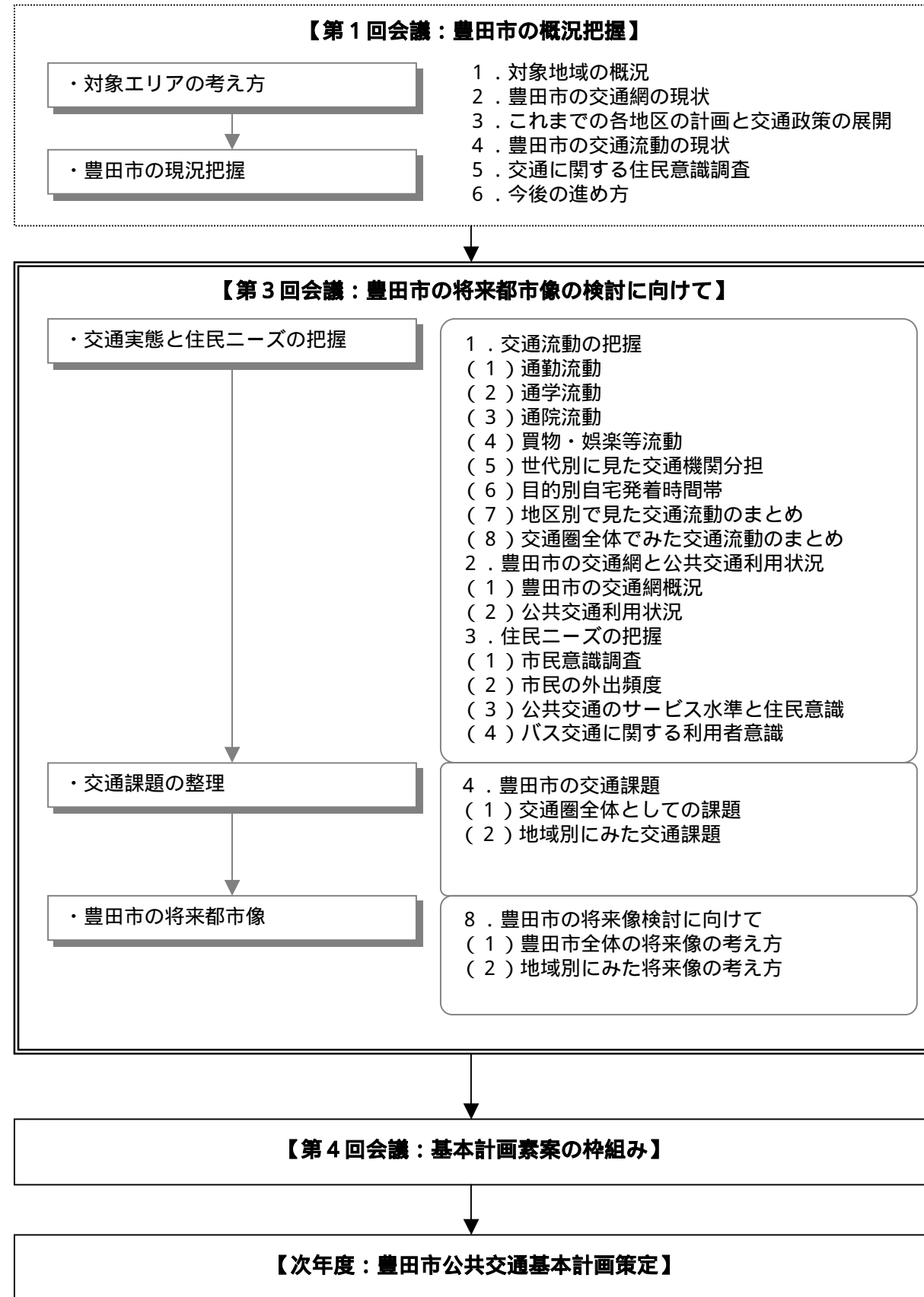
【第3回会議資料】

0. 全体構成と第2回協議会での検討内容.....	1
1. 交通流動の把握.....	2
2. 豊田市の交通網と公共交通利用状況.....	23
3. 住民ニーズの把握.....	31
4. 豊田市の交通課題.....	35
5. 豊田市の将来像検討に向けて.....	41
6. 今後の進め方.....	42

平成17年11月21日

0. 全体構成と第3回会議での検討内容

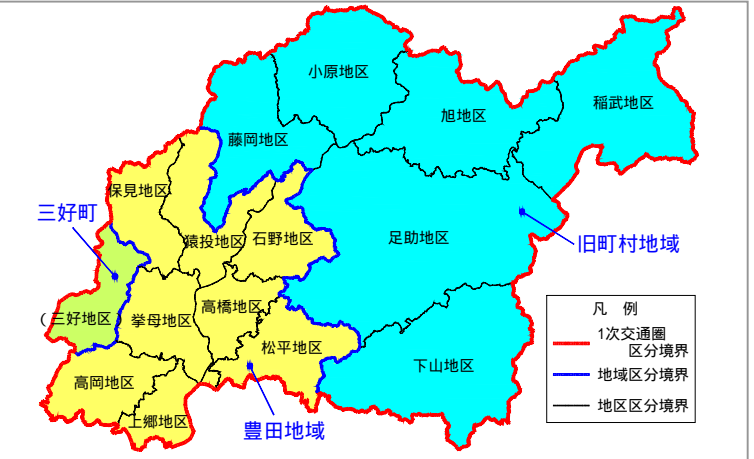
(1) 検討フロー



(2) 対象エリアの構成

【対象エリアの構成】

- 1次交通圏**
豊田市と三好町を合わせた圏域を1次交通圏とする。
- 地域区分**
豊田市合併前の旧豊田市と旧町村地域、及び三好町の3地域に区分。
- 地区区分**
豊田市合併前の各町村と旧豊田市8区分、及び三好町の15地区に区分。



(3) 分析に用いる主な調査データ

交通実態把握に用いる調査データの概要

調査データ	対象範囲	調査時点	概要
第4回PT調査	中京都市圏全域 (愛知・岐阜・三重県の47市83町4村：調査当時) 主に旧豊田市、三好町、他都市の流動把握に用いる。	H13.10	<ul style="list-style-type: none"> 人の動きを把握するための調査で、1日の動きを全て捉える調査である。 都市圏において対象者を抽出しアンケート調査で把握するサンプル調査。 中京圏全体の抽出率は3%であるが、豊田市については7%としている。 サンプルから実人口規模に拡大したデータにより集計。 基本的に10年ごとに実施し、中京都市圏では、昭和46年に第1回が行われ、第4回調査が平成13年10月に実施された。 H13年当時から現時点までに、特に三好町においてさんさんバスの運行やアイモール三好が立地したなどの変化があり、第4回PTで把握できる流動と現在の流動は一致しない。しかしながら、現時点で人の流動を把握できるデータとしてはPTが最も適していると思われるため、当面はPTを用い分析し、必要に応じ他のデータで補完するものとする。
人の動き調査	旧町村地域居住者 藤岡、小原、足助、下山、旭、稲武地区 主に旧町村地域の流動把握に用いる。	H17.6	<ul style="list-style-type: none"> PT調査では豊田三好1次交通圏のうち旧町村地域居住者は対象外であり、旧町村地域の交通状況を把握するために別途独自の調査を実施した。 旧町村地区の世帯に無作為抽出で各地区とも概ね抽出率が10%となるようにアンケート調査票を世帯に配布。(配布回収は自治会を通じ実施) 個人属性、通勤通学・日常の通院買物等の流動、バス利用等について、アンケート票に記入する形式。 旧町村全体での有効回答数は4,761人、抽出率10.9%となった。 PT調査と同様、平成17年4月1日時点での町別の居住者数、性別、年齢区分とサンプルデータの区分から拡大係数を設定することにより、居住人口ベースに換算した。 サンプル数を考慮し集計及び拡大係数の設定はゾーン単位で行うものとし、ゾーン区分は藤岡地区3ゾーン、足助地区2ゾーン、その他地区は各1ゾーンとした。
バス利用実態調査	旧豊田市内 名鉄バス13路線	H14.2	<ul style="list-style-type: none"> 各バス停の乗降者数及びバス運行遅延状況を調査。 バス利用者に対しアンケート調査(手渡し郵送回収)を実施。 アンケート調査票は乗車ごとに配布。 アンケート内容は、個人属性、乗車・降車バス停別利用状況、バス交通に関する改善要望等。アンケート回答数は1,405件で、回収率28%、乗降者数に対する回答率は9.6%となった。
	行政が関与しているバス(スクールバス専用は除く)・乗合タクシー、及び名鉄バス路線の一部	H17.10	<ul style="list-style-type: none"> H14.2に調査されていない路線、または路線変更のあった路線を中心に実施。 調査内容・方法は上記と同じ。 アンケート回答数は1,027件で、回収率24%、乗降者数に対する回答率は4.7%となった(H17.10.31時点)。

1. 交通流動の把握

1-1 通勤流動

1-1-1 全体的な通勤流動の傾向は・・・

- ・ 豊田市の中心部、南部地区及び三好町南部地区に流入が多くを占める。
- ・ 近隣の市町の流入出も比較的多く、地区によってその方向は若干異なる。
- ・ 全体の80%以上が自動車を利用。旧町村地域ではさらに高く90%を超えている。

通勤流入流出量

着地域	豊田地域	旧町村地域	三好町	圏内計	名古屋市	隣接市町村	その他	計
豊田地域	115,625	3,836	7,571	127,032	7,534	16,762	3,357	154,685
旧町村地域	9,066	8,007	751	17,824	589	1,360	537	20,310
三好町	6,512	261	7,002	13,775	3,389	2,519	623	20,306
圏内計	131,203	12,104	15,324	158,631	11,512	20,641	4,517	195,301
名古屋市	9,358	595	2,581	12,534				12,534
隣接市町村	29,874	892	5,706	36,472				36,472
その他	7,313	247	978	8,538				8,538
計	177,748	13,838	24,589	216,175	11,512	20,641	4,517	252,845

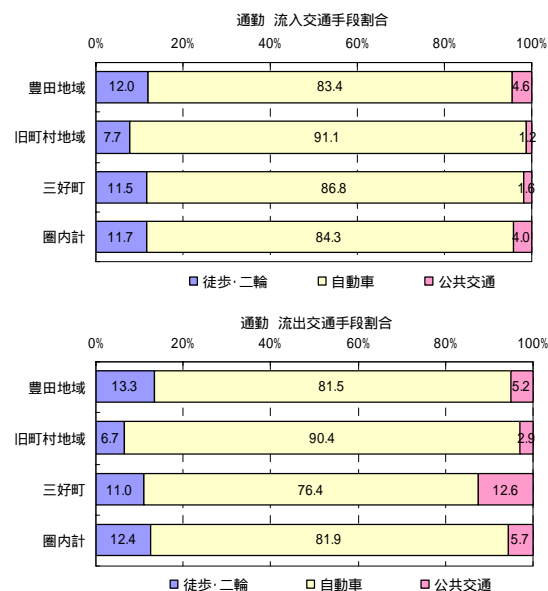
【流動の傾向】

- 豊田地域の流入流出が多く、交通圏全体では60～70%を占める。
- 旧町村地域は、流出に比べ他地域からの流入は少ない。
- 三好町では名古屋市及び隣接市町への流入出が比較的多い。

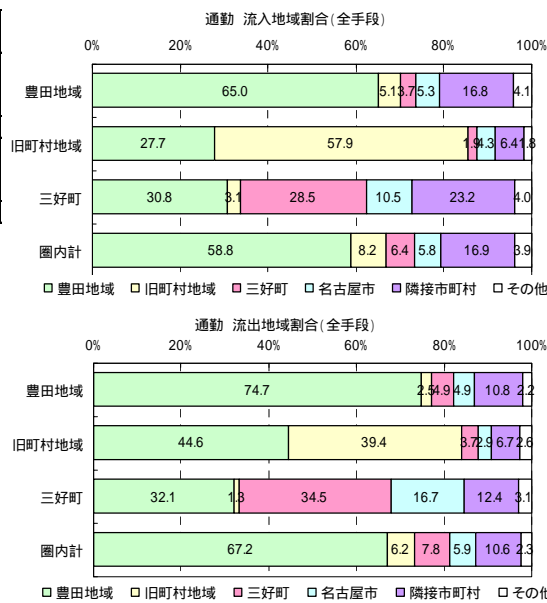
【交通機関分担】

- 交通手段分担率は、流入流出とも自動車割合が極めて高く、交通圏全体では約83%である。
- 旧町村地域は90%以上が自動車利用を占めている。
- 三好町からの流出は豊田市に比べて公共交通利用割合が高くなっている。

通勤流入流出交通手段割合



通勤流入流出先地域割合



1-1-2 豊田地域の通勤流動は・・・

(1) 豊田地域の交通圏内通勤流動

【圏域内流動】

- 通勤流動は挙母地区を中心に、高岡・上郷・高橋・猿投地区間の流入出が多い。
- 大規模工場を有す挙母・高岡・上郷地区へは、ほぼ全地区から通勤している。
- 挙母地区の通勤流動は60%近くが自地区内であり、高岡・上郷地区も比較的その割合が高い。
- その他の豊田地区は自治区内流動が15%程度であり、挙母地区への流出割合が高い。

特に、保見・石野・松平地区が36%程度であるのに対し、大規模住宅地を要す高橋地区は46%と通勤先としての依存度が高い。

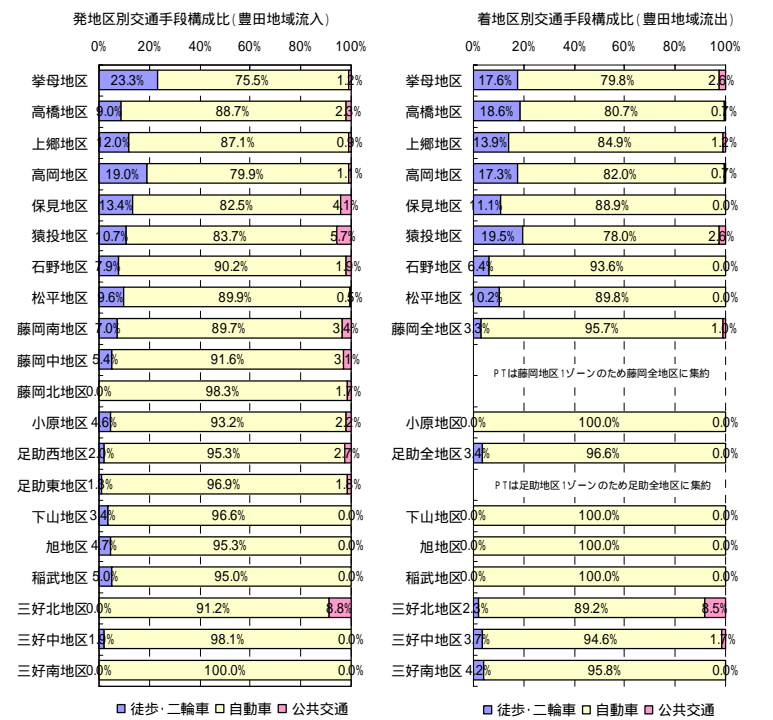
➢ 藤岡・小原・下山地区は挙母地区への流出割合が20%以上と高く通勤先としての依存度が高い。

➢ 豊田地域からは、三好南地区への流出が比較的多いが、藤岡南地区を除く旧町村地域への流出は少ない。

【交通機関分担】

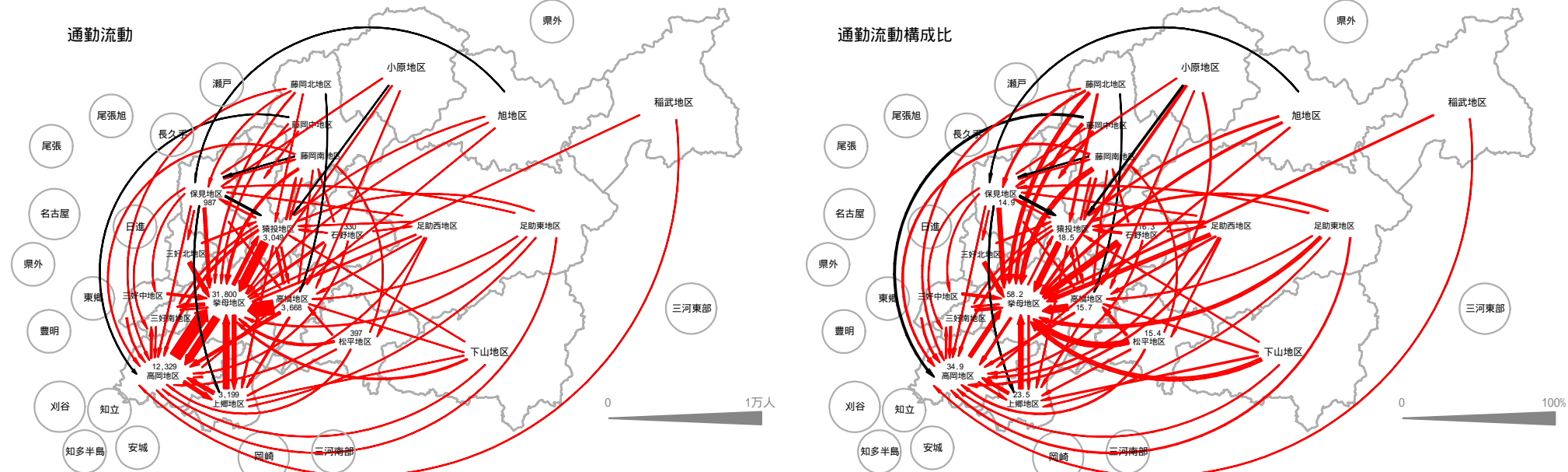
- 自動車利用が圧倒的に多く、特に旧町村地域の流入出では90%以上の割合を占める。
- 自地区内流動が多い挙母・高岡地区では、徒歩・二輪車利用が20%程度である。
- 全体的に公共交通利用割合は極めて低く、特に下山・旭・稲武地区の豊田地域への流出では皆無に等しい。

豊田地域関連交通手段分担率



豊田地域関連流動図 (圏内流動)

注) 流動線は当該地区の全体流出量に対し目的地別 (自地区内含む) 流出量が2%以上のみ図化した。構成比の各地区の数値は自地区内流動割合を示す。緑色は、目的地別に交通圏に流入出のある全体量の自動車分担率に対し (赤: 平均以上 / 黒: 平均未満) として表示した。(交通圏全体 - 通勤目的自動車分担率 = 83.0%)



(2) 豊田地域の交通圏外通勤流動

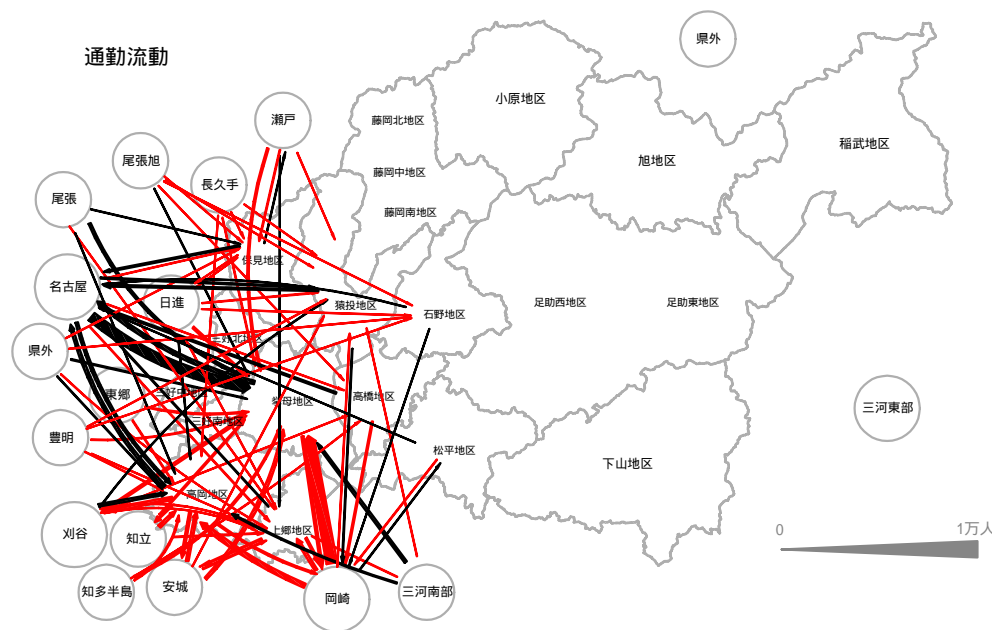
【圏域外流動】

- 圏域外との流動は、名古屋市と岡崎市が非常に多くあり、拳母地区では流出より流入が多い。また、市南部の高岡・上郷地区は知立市や刈谷市との流動も比較的多い。
- 各地区の圏外への流出割合は全体で20%程度であり、各市町別では概ね10%以下である。保見地区から名古屋市、松平地区から岡崎市への流出は11~13%と若干高い。

【交通機関分担】

- 名古屋市への流出の公共交通利用は60%程度を占めるのに対し、名古屋市からの流入では80%以上が自動車利用となっている。
- その他市町では流入流出とも自動車利用がほとんどを占め、隣接市町村の流入は、鉄道で結ばれている岡崎市、知立市も含めて90%程度が自動車利用である。

豊田地域関連流動図（圏外流動）（交通圏全体 - 通勤目的自動車分担率 = 83.0%）



豊田地域関連交通機関分担率
発地区別交通手段構成比(名古屋市流入)

地区	徒歩・二輪車	自動車	公共交通
拳母地区1	37.0%	63.0%	0.0%
高橋地区1	36.9%	61.9%	0.0%
上郷地区0	41.7%	58.3%	0.0%
高岡地区1	43.3%	55.2%	0.0%
保見地区0	58.9%	41.1%	0.0%
猿投地区1	37.3%	61.5%	0.0%
石野地区0	59.3%	40.7%	0.0%
松平地区0	62.2%	36.8%	0.0%

着地区別交通手段構成比(名古屋市流出)

地区	徒歩・二輪車	自動車	公共交通
拳母地区1	70.2%	28.3%	0.0%
高橋地区0	100.0%	0.0%	0.0%
上郷地区0	100.0%	0.0%	0.0%
高岡地区3	78.4%	17.9%	0.0%
保見地区7	83.7%	9.6%	0.0%
猿投地区0	81.0%	19.0%	0.0%
石野地区0	100.0%	0.0%	0.0%
松平地区0	0.0%	0.0%	0.0%

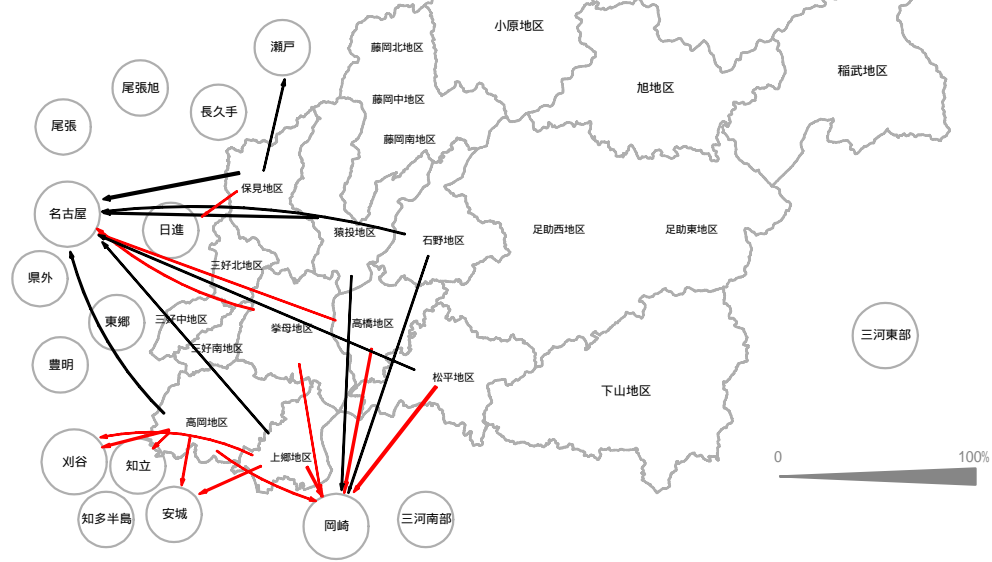
発地区別交通手段構成比(隣接市町流入)

地区	徒歩・二輪車	自動車	公共交通
拳母地区0	93.0%	6.3%	0.0%
高橋地区1	91.1%	7.7%	0.0%
上郷地区2	93.9%	3.8%	0.0%
高岡地区4	90.4%	4.7%	0.0%
保見地区1	91.4%	7.0%	0.0%
猿投地区0	89.8%	10.2%	0.0%
石野地区0	87.2%	12.8%	0.0%
松平地区0	100.0%	0.0%	0.0%

着地区別交通手段構成比(隣接市町流出)

地区	徒歩・二輪車	自動車	公共交通
拳母地区1	90.8%	7.6%	0.0%
高橋地区0	89.4%	10.6%	0.0%
上郷地区1	97.8%	1.9%	0.0%
高岡地区6	90.7%	2.8%	0.0%
保見地区0	95.0%	0.0%	0.0%
猿投地区3	92.7%	4.0%	0.0%
石野地区0	92.1%	7.9%	0.0%
松平地区	24.6%	75.4%	0.0%

通勤流動構成比



1-1-3 旧町村地域の通勤流動は・・・

(1) 旧町村地域の交通圏内通勤流動

【圏域内流動】

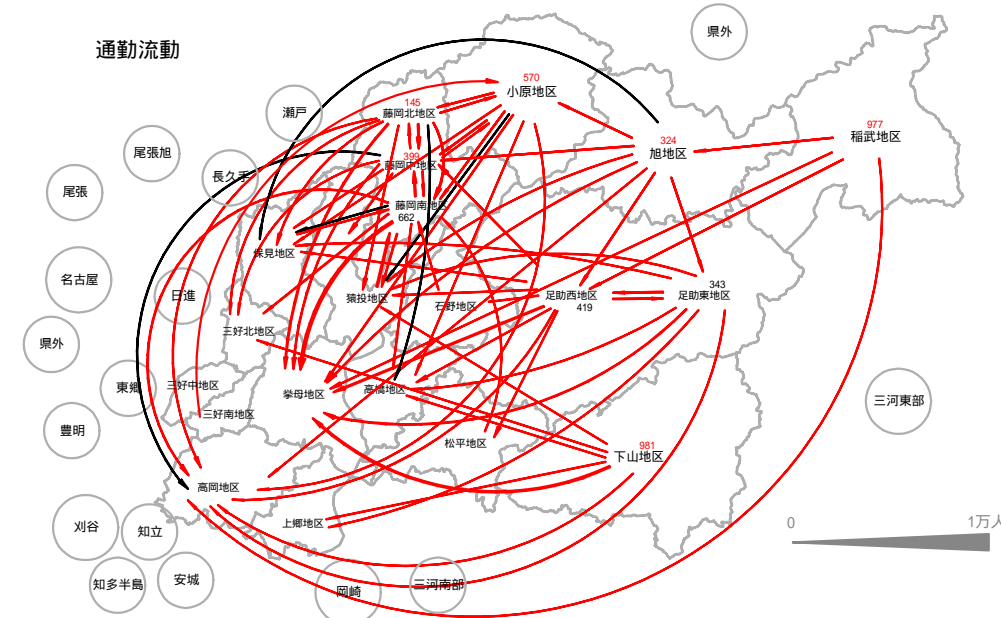
- 豊田地域と比べ全体的な流動量の規模としては小さいが、拳母・高岡地区への流出が多く各地区とも高い割合を占めている。
- 豊田地域の山間部（保見・猿投・石野・松平地区）とは異なり、自地区内での流動割合が比較的高く、概ね20%以上を占め、特に豊田市の中心部から最も遠い稲武地区では約65%と非常に高い。
- 藤岡地区は三好町との結びつきが比較的高くなっている。
- 旧町村地域内では足助地区を中心とした流動が比較的多く、旭・稲武地区ではその割合が高くなっている。

【交通機関分担】

- 自地区内の流動が比較的多いこともあり、徒歩・二輪車の割合が高い地区もあるが、流入出とも90%以上が自動車利用を占め、公共交通利用割合は極めて低い。

旧町村地域関連流動図（圏内流動）（交通圏全体 - 通勤目的自動車分担率 = 83.0%）

旧町村地域の三好町への流出は、データから3地区に区分することが困難であったため、三好全地区に集約している（図では三好北地区として示す）。



旧町村地域関連交通機関分担率
発地区別交通手段構成比(旧町村流入)

地区	徒歩・二輪車	自動車	公共交通
拳母地区1	98.7%	0.0%	0.0%
高橋地区1	98.8%	0.0%	0.0%
上郷地区	11.3%	88.7%	0.0%
高岡地区0	100.0%	0.0%	0.0%
保見地区4	95.7%	0.0%	0.0%
猿投地区6	91.5%	2.8%	0.0%
石野地区0	100.0%	0.0%	0.0%
松平地区0	100.0%	0.0%	0.0%
藤岡南地区	16.6%	83.4%	0.0%
藤岡中地区	5.6%	94.5%	0.0%
藤岡北地区	5.4%	94.6%	0.0%
小原地区	8.2%	90.9%	0.0%
足助西地区	26.3%	72.0%	1.1%
足助東地区	8.2%	91.8%	0.0%
下山地区	6.8%	91.2%	0.0%
旭地区	4.0%	95.5%	0.0%
稲武地区	12.9%	86.7%	0.0%
三好北地区0	58.8%	41.2%	0.0%
三好中地区0	0.0%	100.0%	0.0%
三好南地区0	0.0%	100.0%	0.0%



着地区別交通手段構成比(旧町村流出)

地区	徒歩・二輪車	自動車	公共交通
拳母地区2	94.5%	2.0%	0.0%
高橋地区1	95.9%	2.8%	0.0%
上郷地区	2.2%	90.8%	0.0%
高岡地区2	95.4%	1.8%	0.0%
保見地区4	94.0%	1.1%	0.0%
猿投地区	6.4%	91.9%	1.1%
石野地区0	100.0%	0.0%	0.0%
松平地区	17.2%	88.3%	0.0%
藤岡南地区	15.0%	85.0%	0.0%
藤岡中地区	6.3%	93.7%	0.0%
藤岡北地区	3.3%	92.7%	0.0%
小原地区	6.8%	93.2%	0.0%
足助西地区	15.7%	83.2%	1.1%
足助東地区	12.5%	86.2%	1.1%
下山地区	9.9%	90.1%	0.0%
旭地区	5.3%	94.1%	0.0%
稲武地区	14.1%	85.5%	0.0%
三好全地区	6.3%	93.7%	0.0%

(2)旧町村地域の交通圏外通勤流動

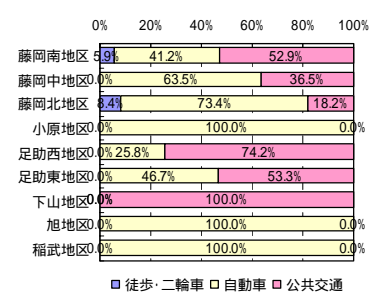
【圏域外流動】

- 旧町村地域と圏域外の流動は比較的少ないが、地区によって方向は異なる。
- 下山地区は岡崎市への流出が多く、構成比でも約12%を占めている。足助・藤岡・小原は名古屋市への流出が3~4%程度あり、藤岡地区においては、瀬戸市や岡崎市への流動もある。
- 稲武・下山・小原地区は隣接する設楽町や他県への流動がある。

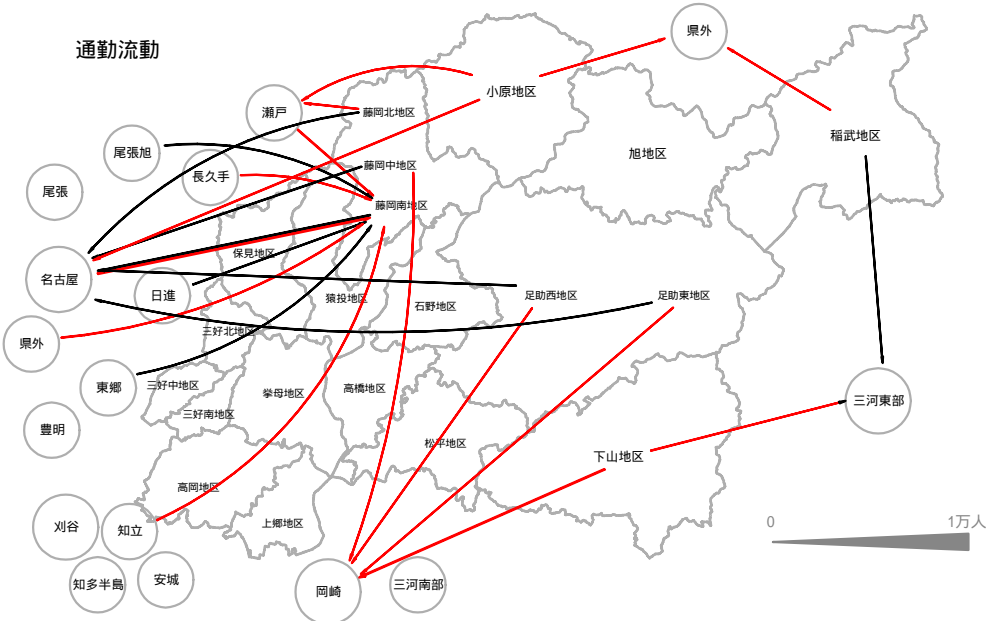
【交通機関分担】

- 名古屋市への流出は、旧町村地域の中では公共交通の利便性の高い藤岡・足助地区で、公共交通の占める割合が比較的高い。旭・稲武・小原地区では流動量が少ないこともあるが自動車利用がほとんどである。

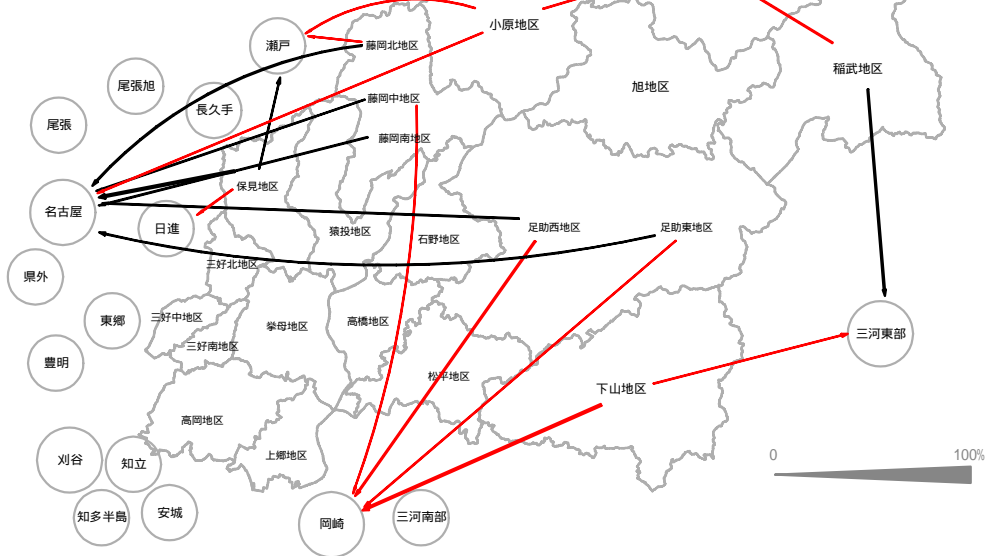
旧町村地域関連交通機関分担率
発地区別交通手段構成比(名古屋市流入)



旧町村地域関連流動図(圏外流動) (交通圏全体 - 通勤目的自動車分担率 = 83.0%)



通勤流動構成比

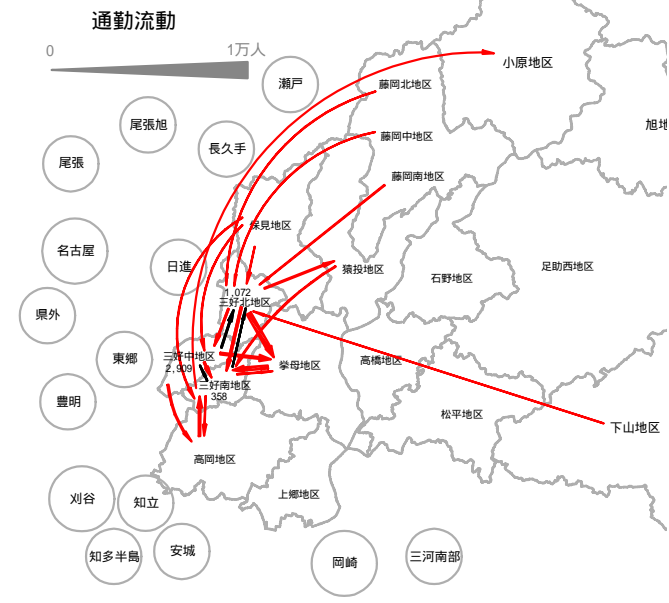


1-1-4 三好町地域の通勤流動は・・・

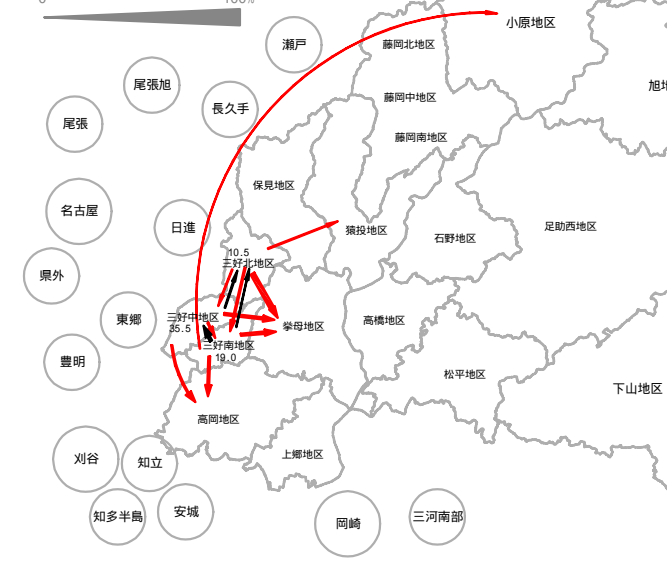
【圏域内・外流動】

- 隣接する拳母・高岡地区への流動が多く、保見・猿投・藤岡地区との流動もあるが、豊田市の中心部より東側の地区との流動はほとんどない。
- 三好中地区の自地区内流動は35%と高く、北地区は10%程度と低くなっている。
- 他地区と同様に名古屋市、知立市、岡崎市との流動に加え、隣接する日進市、東郷町、刈谷市との流動が多く、1次交通圏の他地区と比べて2次交通圏との結びつきも強いことが特徴である。
- 三好町全体としての町内流動は約34%を占め、その他の地区への流出として拳母・高岡地区26%、名古屋市17%であり、これらの地区で約80%を占めている。

三好町地域関連流動図(圏内流動)

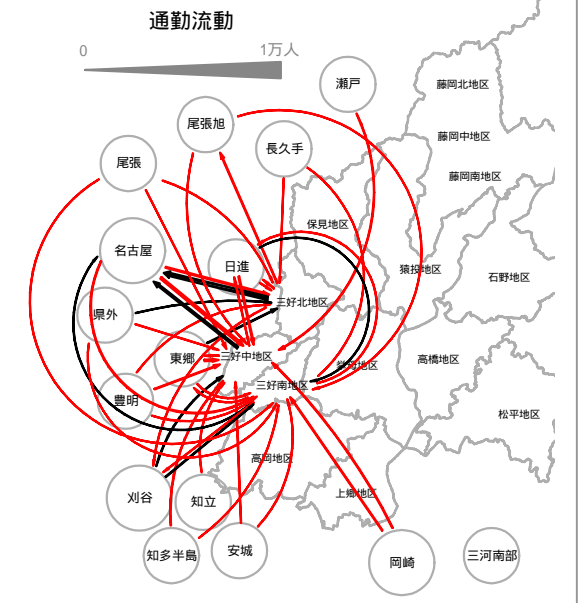


通勤流動構成比

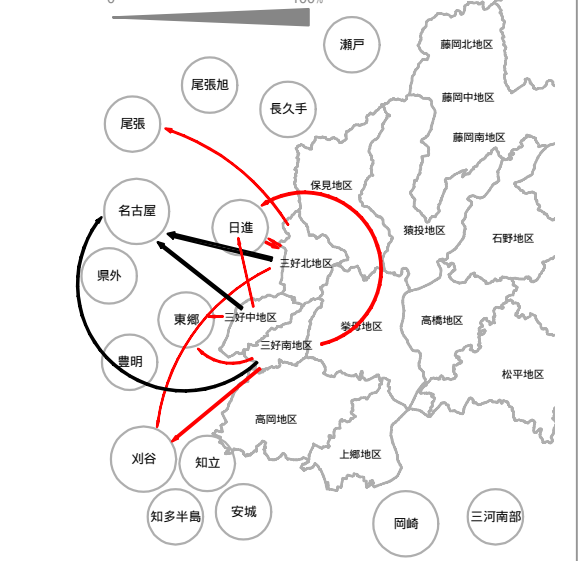


(交通圏全体 - 通勤目的自動車分担率 = 83.0%)

三好町地域関連流動図(圏外流動)

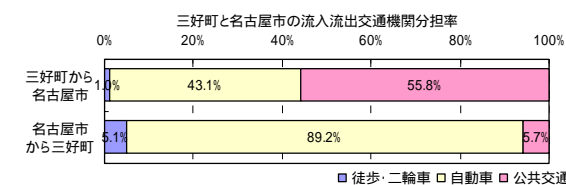


通勤流動構成比

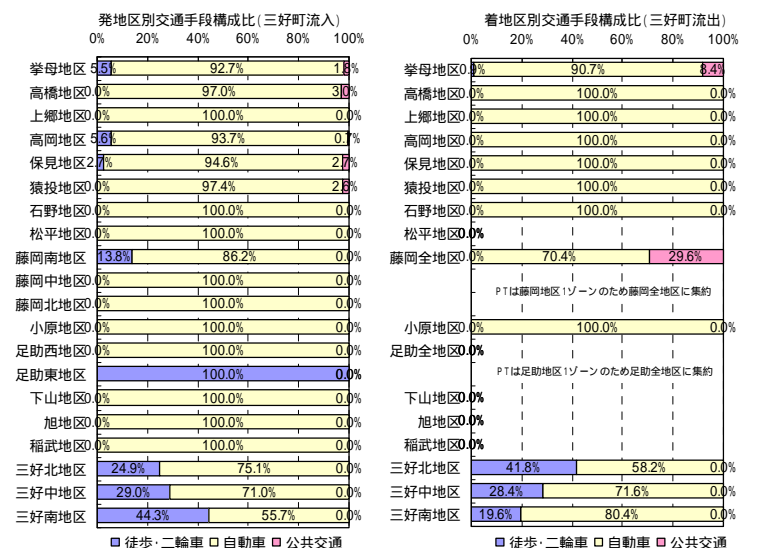


【交通機関分担】

- 三好町の流入出全体としての公共交通利用は13%程度であるが、交通圏域内移動でみるとわずか3%であり、自動車利用が80%以上を占める。
- 名古屋市への流出では公共交通利用が56%を占めるが、反対に三好町への流入は6%となり自動車利用が極めて高くなる。
- 三好町内での移動では徒歩・二輪車の占める割合が比較的高くなっている。



三好町関連交通機関分担率



1-2 通学流動

1-2-1 全体的な通学流動の傾向は・・・

- ・ 自地区内流動に加え、交通圏内では**挙母・高橋・保見・猿投**、圏外では**名古屋市・日進市、岡崎市**への流動が多い。
- ・ 地区内は**徒歩・二輪車**利用が多いが、旧町村地域では**自動車・公共交通**等の長距離移動手段もある。

通学流入流出量

着地域	豊田地域	旧町村地域	三好町	圏内計	名古屋市	隣接市町村	その他	計
豊田地域	50,448	101	837	51,386	4,298	5,025	874	61,583
旧町村地域	1,815	6,053	57	7,925	631	560	181	9,297
三好町	952	0	6,342	7,294	542	657	57	8,550
圏内計	53,215	6,154	7,236	66,605	5,471	6,242	1,112	79,430
名古屋市	4,274	0	1,506	5,780				5,780
隣接市町村	3,027	0	1,233	4,260				4,260
その他	3,211	0	1,819	5,030				5,030
計	63,727	6,154	11,794	81,675	5,471	6,242	1,112	94,500

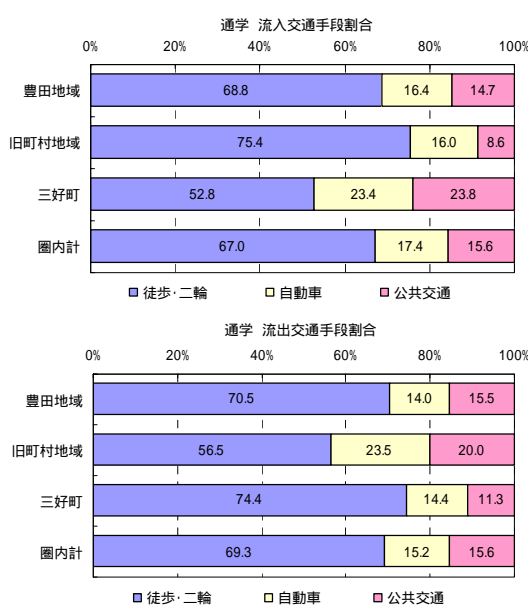
【流動の傾向】

- 各地域とも自地域の流入流出が多くを占める。特に旧町村地域は他地域からの流入はほとんどない。
- 三好町では、名古屋市や近隣市町村との流入出割合が比較的高く、豊田市との流入出を上回っている。
- 交通圏外への流出は、各地域とも15%以下程度となっている。

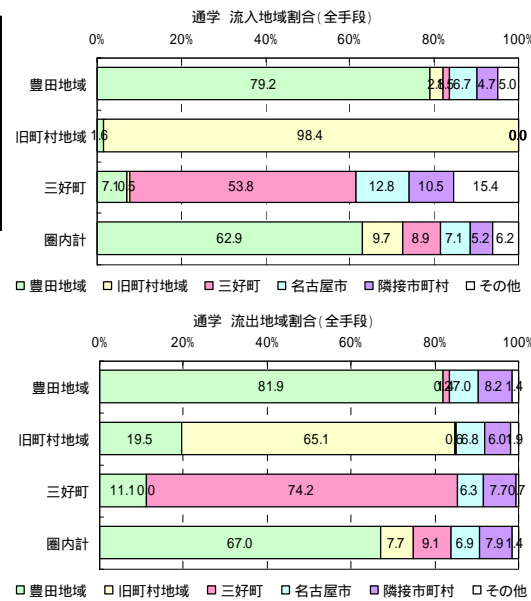
【交通機関分担】

- 交通手段分担率は、徒歩・二輪車が多くを占め、通勤と比べ公共交通利用割合が高い。
- 旧町村地域や保見・猿投地区を通学先とする流動は、公共交通及び自動車利用割合が若干高い。
- 三好町への流入は、公共交通及び自動車割合が若干高い。

通学流入流出交通手段割合



通学流入流出先地域割合



1-2-2 豊田地域の通学流動は・・・

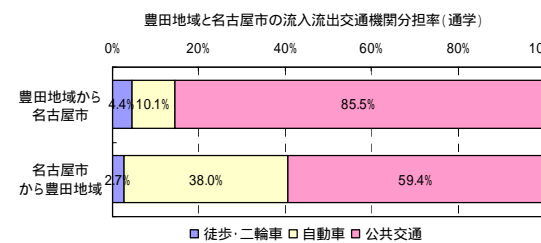
【圏域内・外流動】

- 自地区内流動が多く概ね60%以上を占める。
- 豊田地域内では隣接する地区間との流動も多いが、旧町村地域や三好町への流出はほとんどない。
- 圏外とは、名古屋市、岡崎市、日進市等の流動があり、豊田地域の名古屋市への流出は7%程度を占める。

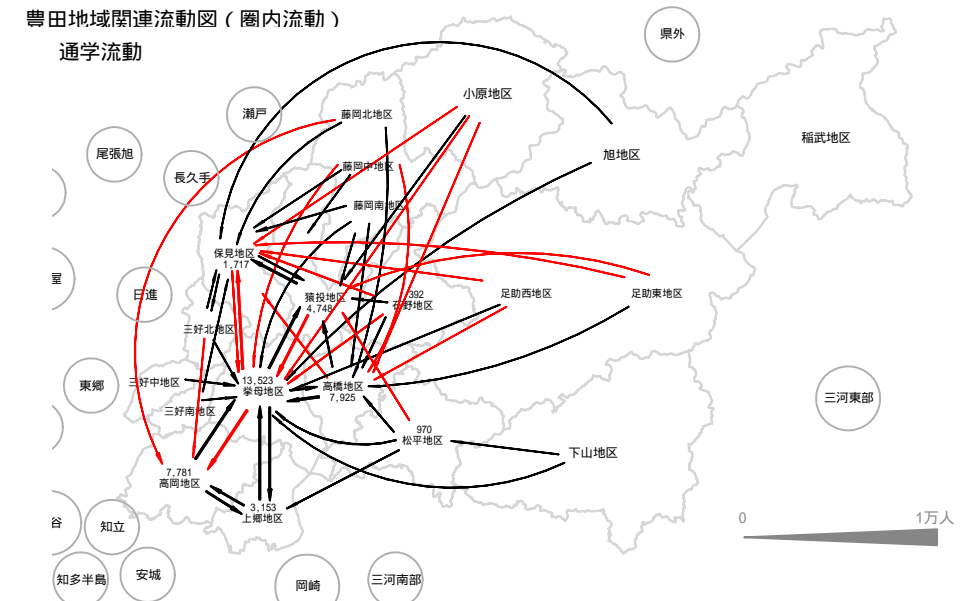
【交通機関分担】

- 豊田地域は徒歩・二輪車等短距離交通手段の割合が高く、自動車割合は低い。
- 名古屋市への流出では85%が公共交通を利用している。

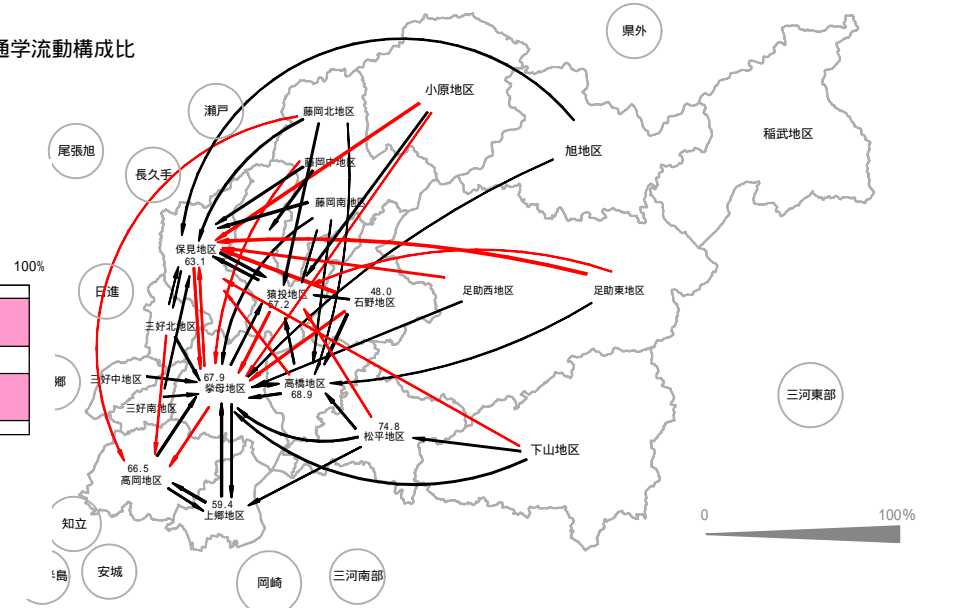
通学流入流出交通手段割合



豊田地域関連流動圏(圏内流動) 通学流動

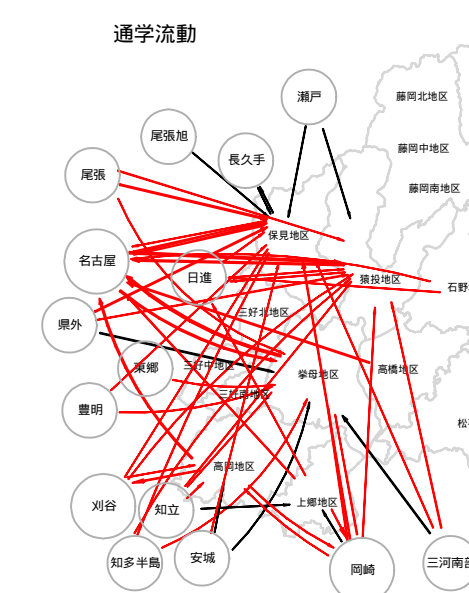


通学流動構成比



(交通圏全体 - 通学目的自動車分担率 = 22.6%)

豊田地域関連流動圏(圏外流動) 通学流動



通学流動構成比



1-2-3 旧町村地域・三好町の通学流動は・・・

【圏内流動】

- 各地区とも自地区内の流動が多くを占め、概ね60%以上となっているが、稲武地区は約90%と極めて高い。
- 地区間流動では、豊田地域の挙母・保見地区への流出が多く、加えて旧町村地域からは猿投・高橋地区、三好町からは高岡地区への流出も多くなっている。
- 旧町村地域では、小原 藤岡、旭 足助、稲武 足助の流動も高い割合を占めている。
- 三好町は町内での流動が75%程度を占めている。

【圏外流動】

- 旧町村地域は名古屋市への流出割合が比較的高く、下山地区では岡崎市への流出が約7%を占めている。
- 三好町では名古屋市への流出も多く全体では6%程度を占めている。また、名古屋市、刈谷市、知立市等近隣の地域からの流入も比較的多い。

1-3 通院流動（平日）

1-3-1 全体的な通院流動の傾向は・・・

- ・ 主要医療施設のある挙母・三好中・足助地区にそれぞれ隣接地区からの流動が多い。
- ・ 挙母地区は圏域全体、足助地区は東部地域の医療拠点。
- ・ 通院でも全体の自動車利用割合は75%を占める。都市部は徒歩等、旧町村地域は公共交通が高い傾向。

【流動の傾向】

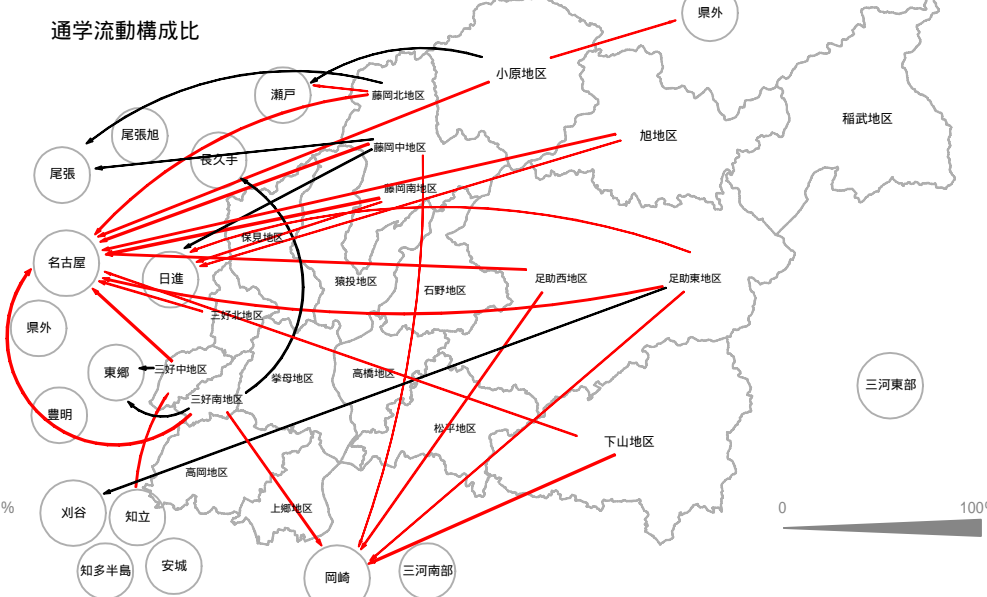
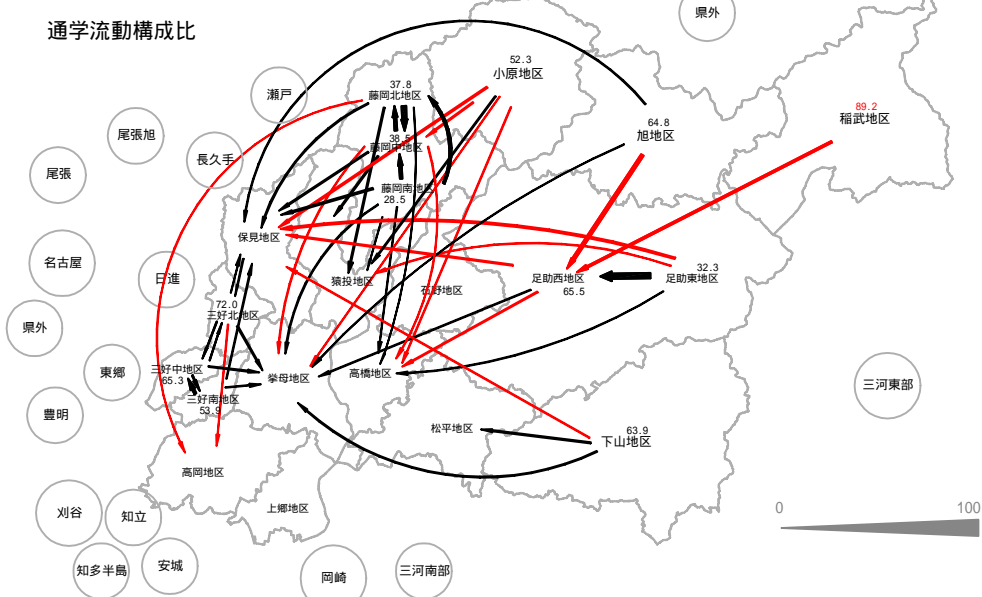
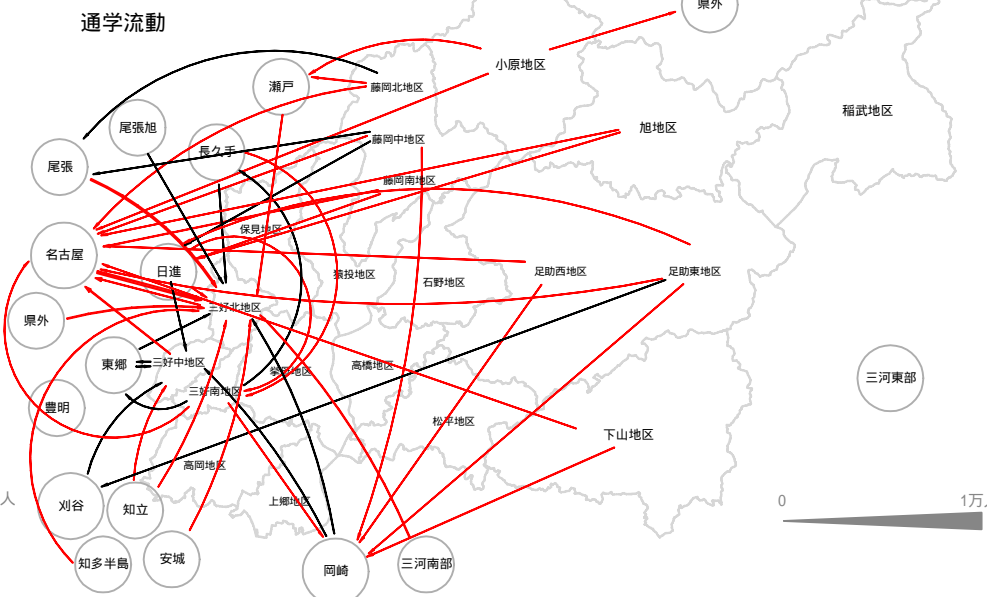
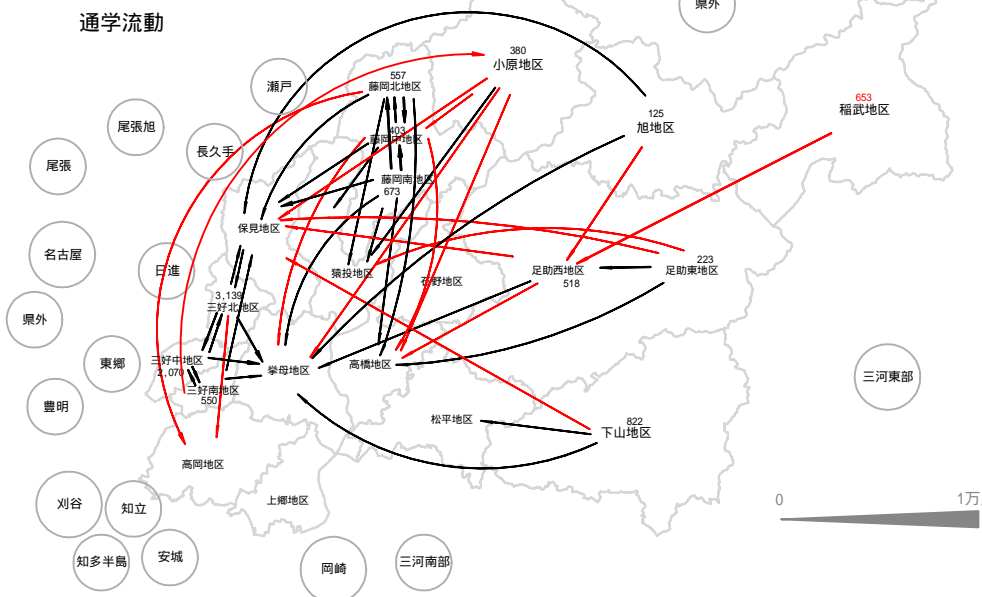
- 各地域とも自地域の通院流動が多くを占める。
- 豊田地域居住者全体では、90%程度が豊田地域を通院先としている。
- 旧町村地域と三好町は、豊田地域の医療施設へ行く割合が比較的高くなっている。

【交通機関分担】

- 全体的に自動車利用が高く、概ね70%を超えている。
- 豊田地域や三好町居住者は、徒歩・二輪車の割合が比較的高い。これに対し旧町村地域居住者は、徒歩・二輪車の割合が非常に少なく、公共交通割合が若干高くなっている。

旧町村地域・三好町関連流動圏（圏内流動）

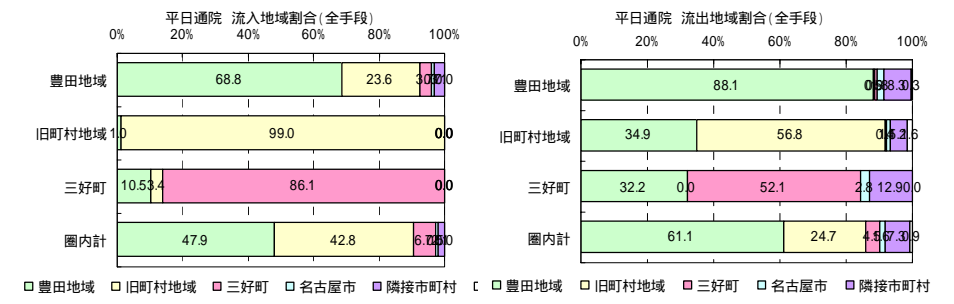
旧町村地域・三好町関連流動圏（圏外流動）



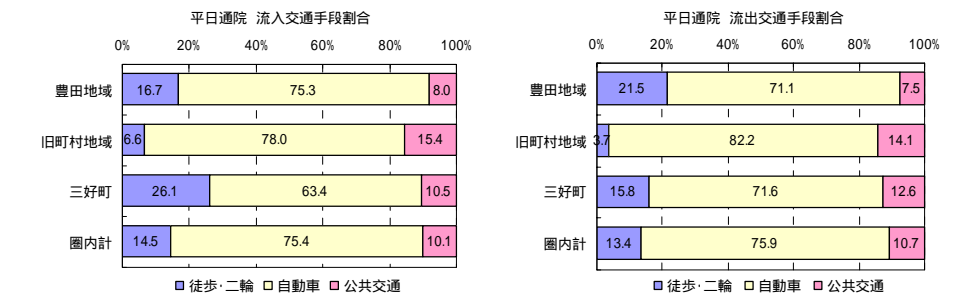
平日通院流入流出量

着地域	豊田地域	旧町村地域	三好町	圏内計	名古屋市	隣接市町村	その他	計
豊田地域	7,091	40	76	7,207	148	671	27	8,053
旧町村地域	2,439	3,972	25	6,436	76	361	114	6,987
三好町	386	0	624	1,010	33	155	0	1,198
圏内計	9,916	4,012	725	14,653	257	1,187	141	16,238
名古屋市	76	0	0	76				76
隣接市町村	321	0	0	321				321
その他	0	0	0	0				0
計	10,313	4,012	725	15,050	257	1,187	141	16,635

平日通院流入流出先地域割合



平日通院流入流出交通手段割合



(交通圏全体 - 通学目的自動車分担率 = 22.6%)